

JPCSA 通信 Vol.58

【JPCSA 最新情報】

- ◆ 「社員総会、理事会・評議会、賛助会員報告会」開催のご報告
- ◆ 7月19日（水）に大阪にて農泊経営高度化セミナーを開催します！
- ◆ 農泊の受入施設の皆さまのための補償制度のご紹介  
—教育旅行だけでなく個人宿泊者の受入にもお勧め！—

【農水省からのお知らせ】

- ◆ 2025年度に宿泊者数700万人泊を目標とする「農泊推進実行計画」を策定

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会です。  
 いつも当協会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。  
 今回も、農泊に関する最新情報をご案内致します。

【JPCSA 最新情報】

- ◆◆ .....  
 「社員総会、理事会・評議会、賛助会員報告会」開催のご報告
- ◆◆ .....  
 6月28日（水）に『時事通信社ビル』にて社員総会が行われ役員改正等が行われました。その後、理事会・評議会、賛助会員報告会を開催し社員総会で承認されたことを報告しました。

■2023年度（第7期）新体制一覧

2023年度（第7期）新体制(PDF / 130KB)

[https://jpcsa.org/wp/wp-content/uploads/2023/07/2023\\_shintaisei.pdf](https://jpcsa.org/wp/wp-content/uploads/2023/07/2023_shintaisei.pdf)

■2023年度（第7期）当協会事業

2023年度（第7期）当協会事業(PDF / 87KB)

[https://jpcsa.org/wp/wp-content/uploads/2023/07/2023\\_kyokai\\_zigyo.pdf](https://jpcsa.org/wp/wp-content/uploads/2023/07/2023_kyokai_zigyo.pdf)



当日の様子

◆◆ .....

7月19日（水）に大阪にて農泊経営高度化セミナーを開催します！

◆◆ .....

先進的な取り組みに向けた農泊地域の育成や農泊地域全体の底上げを図ることを目的とした農泊経営高度化セミナーを大阪にて下記の日時で開催します。

**【開催日時】**

7月19日（水）13：30～16：30

**【開催場所】**

アプローズタワー13階5・6会議室  
（大阪府大阪市北区茶屋町）

7月10日に開催された東京会場に続き、7月19日に大阪にて同セミナーを開催いたします。大阪会場では、当協会の上山代表理事に「農泊地域の高度化に向けて」をテーマにご講演いただきます。また、過去に「ディスカバリー農山漁村の宝」において優良事例に選定された一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会（京都府南丹市）より、先進的な取り組みについてご講演いただきます。同セミナーは会場参加とオンライン参加の併催ですが、会場にお越しいただければ、8月下旬から始まる実参加者30名限定のテーマ別研修&実地研修に先行で予約できます。参加費は無料ですので是非この機会に本セミナーを受講してはいかがでしょうか。

◆◆ .....

農泊の受入施設の皆さまのための補償制度のご紹介

—教育旅行だけでなく個人宿泊者の受入にもお勧め！—

◆◆ .....

当協会では、農泊施設の皆さまが安心して宿泊者をお迎えするため、また宿泊者に安心して農泊を楽しんで頂くために、「ファームステイ補償制度」を開始しました。具体的には、農泊施設が原因の賠償リスクや提供した飲食物による食中毒等の賠償リスクを補償する「ファームステイ補償保険」に加え、農業体験時の指導者の指導ミス等による賠償リスクに備える「ファームステイ

インストラクター保険」を提供します。また、審査基準を満たした漁業・林業・アクティビティ体験指導者のために、指導ミス等による賠償リスクに備える「アクティビティインストラクターの補償」についてのご相談を受け付けます。

詳細については、下記の当協会の専用ページにてご案内しています。

《ファームステイ補償制度について》

→日本ファームステイ協会公式 WEB サイト

<https://jpcsa.org/hokenhanbai/>

【農林水産省からのお知らせ】

◇◆ . . . . .

2025 年度に宿泊者数 700 万人泊を目標とする「農泊推進実行計画」を策定

◇◆ . . . . .

6月2日に開催された「第7回農泊推進のあり方検討会」において「農泊推進実行計画」がとりまとめられ、6月23日に農林水産省が公表しました。この計画では、2025年度目標として農泊地域での年間延べ宿泊者数700万人泊、うち訪日外国人旅行者の割合10%を掲げ、地域自身が起業家精神「農山漁村アントレプレナーシップ」を持ち、新規来訪者の獲得、平均泊数の延長、来訪者のリピーターに取り組むとともに、農林水産省が都道府県、事業者と連携して広域的な支援を実施することを通じ、農山漁村の活性化と所得向上を目指すなどとなりました。具体的には、農泊地域の実施体制を再構築するため、コンテンツ充実などへの支援、専門家活用、DX推進などを実施。

これまでに整えたコンテンツを広く可視化し、消費機会拡大のための取り組み推進、資金調達のモデル提示なども図るとしています。

なお、農泊推進実行計画の詳細は下記のウェブサイトをご覧ください。

《農泊推進実行計画の公表について》

→農林水産省公式 WEB サイト

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/230623.html>

=====

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。ご購読いただいた皆様の事業展開のきっかけとなる様な情報発信を行って参りますので、今後もお愛読のほど宜しくごお願い申し上げます。

会員様が実施されます農泊関連イベントや研修について、本メールマガジン上で告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、配信希望月の1カ月前までに下記のメールアドレスへご連絡をお願い致します。担当者よりご連絡をさせていただきます。

=====

発行：

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021

東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL : 03-3526-2493 / FAX : 03-3526-2494 )

本会 WEB サイトはこちら

<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mailはこちら

[info@jpcsa.org](mailto:info@jpcsa.org)

=====